

# わん+NAVI

レスキュー&セラピードッグたちの最新情報



石川県救助犬協会連合会 会報  
平成22年5月1日 第7号発行

## ごあいさつ

NPO法人 石川県救助犬協会連合会  
会長 松平 博之

能登半島地震から早くも3年の歳月が流れ被災した町々は復興を遂げましたが、出勤の記憶は色褪せること無く、今も生々しく蘇ってきます。

13回目を迎えた石川県嘱託災害救助犬の認定審査会も山本・斉藤両審査員を招聘し、中央災害救助犬委員会の中口委員長の視察もいただき滞りなく実施されました。

高度な技術の示唆と審査講評に、改めて今後のレベルアップに向けて問題を見出すこととともでき、新たな方向性が示されました。

犬はもとより指導手各々も活発に新陳代謝を目指し、今後も高邁な意志と健全な心身と高度な技術研鑽に勤めることが必要と実感いたしました。

県内では6年ぶりとなるセラピードッグ認定審査も関係各方面のご協力のお陰で実施することもできました。

日々寄せられる付託や期待に応えることが出来るよう、更に修練が必要でもあります。

これまでも多くの方々のご協力を得てまいりましたが、なにより当協会員の直向きな熱意と行動力に深い感謝を申し上げます。

災害救援や社会福祉事業と更に更に我々への時代の要請は増えつつあります。

『世界中どこにも、我々が出動するような不幸な災害が起こらないことを祈り』また『淋しくお暮らしの高齢者の方々の笑顔』を糧に更に結束して普及啓発にも邁進してまいります。

会員各位はじめ関係各位の平穏と健康を祈りつつ感謝申し上げるとともに一層のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



# 活動報告

平成21年

4月

- 4月4日 NHK番組出演  
(津幡町訓練場)
- 4月12日 月例訓練  
(津幡町訓練場)
- 4月19日 セラピー部門 AAT訪問  
(あじさいの郷)



5月

- 5月24日 JKC石川県シェパード犬クラブ訓練競技会  
(手取公園右岸園地)



6月

- 6月7日 平成21年度第7回通常総会  
(金沢市消防本部防災センター)
- 6月14日 北陸訓練チャンピオン決定競技会  
(主催(社)日本警察犬協会石川県支部  
(十八河原公園(手取川天狗橋詰))
- 6月17日 行方不明者捜索活動実施  
(小松市新丸山発電所上流)
- 6月25日 デモンストレーション  
(つばき保育園)
- 6月27日 セラピー部門 AAT訪問  
(やすらぎホーム)
- 6月30日 平成21年度石川県防災総合訓練第1回会議  
(能美市辰口庁舎)



7月

- 7月5日 JKC北陸甲信越ブロック訓練士義務研修  
災害救助犬について 講師 山本利三氏  
(金沢市消防本部防災センター)
- 7月12日 月例訓練  
(四十万訓練場)
- 7月17日 平成21年度石川県防災総合訓練第2回会議  
(能美市辰口庁舎)
- 7月18日 セラピー部門 AAT訪問  
(白寿苑)
- 7月26日 セラピー部門 AAT訪問  
(松美苑)



8月

- 8月22日 月例夜間訓練  
(四十万訓練場)
- 8月30日 津幡町防災訓練  
(津幡町住吉公園)



## 9月

- 9月6日 平成21年度石川県防災総合訓練  
(能美市岩内工業団地)
- 9月12日 セラピー部門 AAT訪問  
(松美苑)
- 9月20日 月例訓練  
(四十万訓練場)
- 9月23日 動物ふれあいフェア  
(辰口丘陵公園)
- 9月29日 JKC災害救助犬認定試験  
(京都府丹波)



## 10月

- 10月1日 NHK番組ビデオ収録  
(津幡町)
- 10月3日 愛犬飼い方教室  
(卯辰山 千寿閣)
- 10月11日 月例訓練  
(津幡町訓練場)
- 10月21日 デモンストレーション  
(さくら保育園)

## 11月

- 11月3日 オールジャパン  
2009訓練競技大会  
(主催 北陸訓練士会)  
(健民海浜公園)
- 11月7日 デモンストレーション  
(百万貫の岩まつり)
- 11月9日 デモンストレーション  
(北海道犬展)
- 11月14日 セラピー部門  
AAT訪問  
(大門園)
- 11月15日 月例訓練  
(津幡町訓練場)
- 11月29日 セラピー部門  
AAT訪問  
(松美苑)



## 平成22年

### 1月

- 1月13日 雪崩事故救助訓練  
(医王山スポーツセンター)
- 1月17日 セラピー部門 AAT訪問  
(あじさいの郷)
- 1月24日 月例訓練  
(金沢北四十万訓練場)

### 2月

- 2月14日 月例訓練  
(津幡町訓練場)

### 3月

- 3月14日 月例訓練  
(津幡町訓練場)
- 3月26日 平成21年度第13回  
石川県囃託災害救助犬審査会  
(津幡町)
- 3月28日 AAT認定試験  
(国際ペット専門学校)



## 〈特別寄稿〉

毎日新聞北陸総局 近藤希実

思い起こせば我が家には、いつも犬が同居していました。

誰ともなく捨て犬を拾ってきってしまうことが原因で、犬の散歩は実家ではずっと「家事」の一つでした。ところが、記者なんて仕事に就いたばかりに、三食不規則、家には寝に帰るだけ、運動不足にアルコール過多。とてとても、ドッグライフは楽しめません。そもそもこんな生活に犬を付き合わせたら、気の毒通り越して不道德です。とは言え、犬がいて当たり前前の生活に浸りきっていた身にとって、犬のいない生活はなんとも寂しいもの。そこで一計案じて、「犬のいるところに取材に行けばいいじゃん!」と閃いたわけです。

公私混同? それが記者ってものですよ(と開き直ってみる)。

私は記者5年目で、金沢に来る前は滋賀にいました。そこである盲導犬に出会います。

実際に道ですれ違った経験のある人は少ないでしょうが、「盲導犬=冷静沈着」というイメージはないでしょうか。私はまさにそうで、尊敬の眼差しで盲導犬を見ていたのですが、琵琶湖のほとりに住む黒ラブラドルの「彼」はそれを見事に覆してくれました。初めて自宅を訪ねた時、玄関を開けると廊下の奥から「シャシャシャッ」と走ってくる足音。え?と戸惑いつつユーザーさんに挨拶していると、真っ黒の塊が床をつるーんと滑っていくではないですか。ドンツと壁にぶつかる音の後、喜色満面の黒ラブが玄関に。その後も私がユーザーさんと話している間、延々と骨っこをかじり続け、飽きたら仰向けになって昼寝する始末。盲導犬も普段はただの犬なんだなぁと思っていたら、ユーザーさん(素敵なおばさま)は「そりゃそうよ〜。盲導犬の仕事も彼には遊びみたいなもんじゃないかしら」と笑っていました。

同じような言葉を、実は金沢でも聞きました。救助犬の訓練は犬にとって大変じゃないですか?と、松平さんに尋ねた時の答えがそうでした。確かに、模擬捜索や服従訓練でハンドラーと息ぴったり動いている犬たちの顔の得意そうなこと。誉められた時の尻尾の振り方も尋常じゃありません。一方で、救助犬は災害現場で「ここにはもう誰もいない」と判断する、非常に重い役目も背負っています。そのプレッシャーたるや、皆さんボランティアなのに……と本当に頭が下がります。

犬が好きだ!という不純な動機で取材を始めた私ですが、おかげで災害現場に来る前の、悪戦苦闘しながら認定を目指す救助犬の苦労や努力を知ることができました。せっかくだから職種を活かして、私は救助犬の活動を「世に広める」形で手伝いをさせてもらえればと思っています。皆さんが訓練場に行ったら、きっと何か月かに一度は嬉しそうに眺めている不審者がいるので、ぜひちょっとだけ愛犬を触らせてあげてくださいね。


**活動写真**




## セラピードッグ認定試験を終えて



中村 江美

平成22年3月28日セラピードッグ認定試験を終えて思った事は、『あ～、とりあえず終わった～。』という事でした。

超猫派(現在も3匹の猫と同居中)だった私が犬を飼うきっかけになったのは、主人が持ってきた1枚の写真でした。以前の職場の同僚の友人宅でミニチュアダックスが生まれたのだが動物好きの主人にどうか、と渡されたのが生後2カ月の『小町』でした。夫婦ともそのかわいらしさに悩殺され、飼うことを決意。おとなしく、いたずらもあまりしない小町はしたたかに育ち、やがて『三太』が産まれました。いたずら盛りの三太のしつけの為に訓練に通い始め、そこで『石川県救助犬協会連合会』の活動を知りました。

私の仕事は看護師です。主に整形外科や外科などの病棟で仕事をしており、その中で行われる老人看護や終末期看護の重要性を身をもって感じていました。終末期にある患者様でベッドサイドにペットの写真を置いている方がおられ、その写真のことを尋ねるとホッとやさしい表情になり、うれしそうに愛犬や愛猫の話をして下さる。また、認知症を患う患者様でも昔飼っていたペットの話を懐かしそうにふと現実に戻ったように話される。そんな経験を数多く体験させていただきました。

そのような経験の中で、誰もが迎える最期の時を穏やかに、また安らかに迎えるためのプロセスの一つとしてセラピー活動があると考えます。私は穏やかな性格の小町と一緒に少しでも手助けをできたらと思い、セラピー活動に参加するようになりました。

最初は汗だくになりながら訪問活動をしていましたが、松平会長や訓練の先生、諸先輩方の支えにより少しずつではありますが落ち着いて活動することができるようになったと思います。

今回の認定試験は、私と小町の本当の第一歩だと思っています。この原稿を書いている今日現在、結果は出ていませんが、この一歩を踏みしめ今後の活動に活かしていきたいと思っています。

今後ともご指導のほど、よろしくお願いいたします。



## 活動行事 (予定)

5月23日 (日) JKC石川トレーナーズクラブ訓練競技会(石川県内)

6月13日 (日) 北陸訓練チャンピオン決定競技会 (主催(社)日本警察犬協会石川県支部)  
(手取川天狗橋詰 十八河原公園)

6月27日 (日) 月例訓練 (津幡訓練場)

7月18日 (日) 月例訓練 (四十万訓練場)

8月22日 (日) 月例訓練 (四十万訓練場)

その他予定 動物ふれあいフェア (辰口丘陵公園)、平成22年度石川県防災総合訓練、自衛隊合同訓練、派遣講演、セラピー部門AAT訪問

詳しい内容についてはホームページを確認してください(<http://ird-a.org/>)

# 石川県救助犬協会連合会 所属認定犬

順不同

犬名	生年月日	犬種	性別	認定資格
ディリー フォン トーキョー シゲル JP CDX	1999. 1.14	ラブラドル レトリバー	♂	JKC災害救助犬認定犬
ピンゴ オブ ヨコスカ コバヤシ JP	2003. 1.11	ラブラドル レトリバー	♂	JKC災害救助犬認定犬
ブラックスター オブ ワイルド アット ハート JP	2001.4.23	ラブラドル レトリバー	♂	石川県囑託災害救助認定犬
ツアーパ オブ ファミリー S	2005. 1.30	ジャーマン シェパード	♀	石川県囑託災害救助認定犬
G-Margaret vom Haus Neuman	2002. 2. 8	ホワイトスイス シェパード	♀	JKC災害救助犬認定犬 石川県囑託災害救助認定犬 セラピードッグ認定犬
セシル オブ トーキョー シゲル JP	2003.4.16	ボーダーコリー	♀	JKC災害救助犬認定犬 石川県囑託災害救助認定犬 セラピードッグ認定犬
フェアリー フォム スムフジソー	2004. 8.29	ラブラドル レトリバー	♀	JKC災害救助犬認定犬 石川県囑託災害救助認定犬
エアロスミス オブ ワイルド アット ハート JP	2000. 3.27	ラブラドル レトリバー	♀	石川県囑託災害救助認定犬
ハウス ユーゲン JP アドル	2007. 5.19	コイケル ホンディエ	♀	石川県囑託災害救助認定犬
ジンガー オブ シャイニング ゴールド	2007. 2.25	ラブラドル レトリバー	♂	石川県囑託災害救助認定犬
ベネ オブ ハウスミナ JP	2002. 1.14	ラブラドル レトリバー	♀	石川県囑託災害救助認定犬
キャデラック オブ M ウロタンケ JP	2007. 7.10	ビーグル	♂	石川県囑託災害救助認定犬
APPLE BLOSSOM OF TOYA MATSUI JP T.CH	2000. 5.10	ラブラドル レトリバー	♀	JKC災害救助犬認定犬
RAMSTASIA OF K.J.R. JP	2005.12.17	パピヨン	♀	セラピードッグ認定犬
MICK OF KRUN KRUN DOG JP	2008. 8. 5	プードル	♂	セラピードッグ認定犬
SYURI OF NAKAMURA KOMACHI JP	2006. 5.21	ダックスフンド	♂	セラピードッグ認定犬
JOHN LOWE OF ISHITA HOUSE JP	2004. 7. 7	ダックスフンド	♀	セラピードッグ認定犬
クリス	2006.10.27	チャイニーズ クレストドッグ	♀	セラピードッグ認定犬
Oak of Amigo House	2002. 1.10	ラブラドル レトリバー	♂	セラピードッグ認定犬
MARIA ROSA APRICOT DANCER FCI	2003. 4.13	プードル	♂	セラピードッグ認定犬
ジャック		プードル	♂	セラピードッグ認定犬
MIKI OF KERRY-K JP	2008. 2. 2	ミニチュア シュナウザー	♂	セラピードッグ認定犬
MARS OF RUDOLF MUFASA JP	2008. 5.27	ゴールデン レトリバー	♂	セラピードッグ認定犬



# 活動紹介

## 災害救助犬

災害救助犬は、そのほとんどが囑託制となっています。石川県では、倒壊家屋の下敷きになった被災者の捜索、救助活動を行う災害救助犬の出動体制を整備するため、能力があると認められた犬を県の囑託犬として認定し、審査会の開催を通じて県民の防災に対する関心と理解を深めています。囑託犬に認定されると、認定から1年間、石川県内各市町の実施する防災訓練への参加と、災害時の救助活動に出動する役割が与えられます。



## セラピードッグ

動物たちの力を借りて介護を要する方々の心を癒し、健康改善に役立てる医療・更正行為を動物介在療法といい、その現場で活躍する犬をセラピードッグと呼んでいます。当協会では、石川県内各地の老人福祉施設を訪問する動物介在活動を行っています。

## 救急講習会

被災現場での救助活動は、救助犬と飼い主の連携が欠かせません。毎年、石川県救助犬協会連合会と金沢市消防本部が合同で、「救急講習会」を行っています。救助にあたる会員が、レスキュー隊から救助資機材取扱説明や心肺蘇生法、ロープで命綱を作るといった必須項目を学びます。



## 公認訓練施設

金沢北四十万訓練場  
津幡町森林公園内 災害救助犬公認訓練場

## 活動写真



# 石川県救助犬協会連合会について

## 事業内容及び目的

本会は救助犬による捜索、人命救助とその活動に必要な知識、技術の向上を図ることに  
より社会への奉仕を目的として活動しています。

- ・ 災害救助犬・警察犬・セラピードッグほかワーキングドッグ全般の作出・研究
- ・ 救助犬ハンドラー・指導手の育成
- ・ 犯罪者の逃走・潜伏場所の捜索
- ・ 救助犬の必要性についてのPR活動
- ・ 救助活動、救助犬作出、研究に関する関係各庁と関係団体との連絡協調
- ・ 種々の状況に対応できる救助犬の作出、研究と不明者捜索
- ・ 行方不明となったハイカー、キャンパー、子供、認知症老人捜索
- ・ あらゆる現場で負傷等により動けなくなった人の捜索
- ・ 当協会へのボランティア活動者の募集
- ・ 学校、施設等の実演講演会の実施
- ・ 国内外における救助犬協会及びそれに類する団体との交流
- ・ その他本会の目的を達成する為に必要な事業

協会員数 91家族 150名

賛助会員数 5団体

(平成22年3月末現在)

当協会が加入している団体

(社会福祉法人) 金沢市・石川県・全国社会福祉協議会

NPO法人 いしかわ災害ボランティアネットワーク

海守(一部会員)

## 賛助会員募集

当協会の活動は全て会員の無償のボランティアで成り立っています。  
一頭でも多く、楽しく働く犬たちを社会に貢献させるために  
皆さんからの、募金によるご協力をお願いいたします。

郵便振替口座

振替先 石川県救助犬協会連合会

口座番号 00710-8-55848

年会費 ¥3,000(1年間)

(通信欄に賛助会員とお書き添えください)

NPO-IRD 特定非営利活動法人  
石川県救助犬協会連合会

<http://ird-a.org/>



石川県救助犬協会連合会